

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	日高平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	日高森林計画区 （ひだか） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>日高森林計画区は、北海道の中央南部の日高山脈西側に所在する234千haの国有林を対象としており、このうち、日高北部森林管理署の管轄区域は93千haである。</p> <p>当管轄区域は、国有林を水源とする沙流川が流れており、水量豊富で栄養豊かな水を供給することにより、漁業や電源開発など地域産業に重要な役割を果たしている。また、日高山脈襟裳国定公園や自然観察教育林を有するなど、自然条件や立地条件は多様である。</p> <p>このため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">434 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,297 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>27.6 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.6 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	434 (ha)			保育面積	5,297 (ha)		路網整備	開設延長	27.6 (km)			改良延長	0.6 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	434 (ha)																
		保育面積	5,297 (ha)																
	路網整備	開設延長	27.6 (km)																
		改良延長	0.6 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	690,639 (千円)																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	1,878,876 (千円)																
		山地保全便益	785,312 (千円)																
		環境保全便益	63,823 (千円)																
		木材生産便益	959,632 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	93,135 (千円)																
		計	3,780,778 (千円)																
	分析結果 (B / C)	5.47																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	日高平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	日高森林計画区 （ひだか） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>日高森林計画区は、北海道の中央南部の日高山脈西側に所在する234千haの国有林を対象としており、このうち日高南部森林管理署の管轄区域は141千haである。</p> <p>当管轄区域は、国有林を水源とする厚別川、新冠川、静内川、元浦川などが流れており、水量豊富で栄養豊かな水を供給することにより、漁業や電源開発など地域産業の重要な役割を果たしている。また、日高山脈襟裳国定公園を有するなど、自然条件や立地条件は多様である。</p> <p>このため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">177 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>8,168 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>30.7 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>9.3 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	177 (ha)			保育面積	8,168 (ha)		路網整備	開設延長	30.7 (km)			改良延長	9.3 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	177 (ha)																
		保育面積	8,168 (ha)																
	路網整備	開設延長	30.7 (km)																
		改良延長	9.3 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,377,232（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,345,717（千円）																
		山地保全便益	1,765,561（千円）																
		環境保全便益	119,630（千円）																
		木材生産便益	1,653,029（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	116,685（千円）																
		計	7,000,622（千円）																
	分析結果（B / C）	5.08																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	渡島檜山森林計画区 (おしまひやま) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 渡島森林管理署																
事業の概要・目的	<p>渡島檜山森林計画区は、北海道南西部の渡島半島に所在する258千haの国有林を対象としており、このうち、渡島森林管理署の管轄区域は124千haである。当管轄区域は、日本海と噴火湾に囲まれ、日本海には利別川、噴火湾にはユーラップ川を代表とする国有林を水源とした大小の河川が注ぎ込んでいる。また、噴気活動中の駒ヶ岳を含む大沼国定公園や道立自然公園、自然休養林を有するなど、自然条件や立地条件は多様である。このため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">127 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,710 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>23.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.5 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	127 (ha)			保育面積	2,710 (ha)		路網整備	開設延長	23.0 (km)			改良延長	0.5 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	127 (ha)																
		保育面積	2,710 (ha)																
	路網整備	開設延長	23.0 (km)																
		改良延長	0.5 (km)																
費用対効果分析	総費用(C)	839,578 (千円)																	
	総便益(B)	水源かん養便益	1,856,881 (千円)																
		山地保全便益	573,117 (千円)																
		環境保全便益	40,222 (千円)																
		木材生産便益	2,044,537 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	132,785 (千円)																
		計	4,647,542 (千円)																
	分析結果(B/C)	5.54																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																								
事業実施地区名 （都道府県名）	渡島檜山森林計画区 （おしまひやま） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署																								
事業の概要・目的	<p>渡島檜山森林計画区は、北海道南西部の渡島半島に所在する258千haの国有林を対象としており、このうち、檜山森林管理署の管轄区域は134千haである。当管轄区域は、日本海と津軽海峡の海域に囲まれており、海域や生活域に隣接した森林を多く抱えていること、また、道立自然公園、ふれあいの森を有するなど、自然条件や立地条件は多様である。</p> <p>このため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">247 (ha)</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,539 (ha)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>25.0 (km)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.7 (km)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	247 (ha)					保育面積	3,539 (ha)				路網整備	開設延長	25.0 (km)					改良延長	0.7 (km)		
主な事業内容	森林整備	更新面積	247 (ha)																								
		保育面積	3,539 (ha)																								
	路網整備	開設延長	25.0 (km)																								
		改良延長	0.7 (km)																								
費用対効果分析	総費用（C）	778,138（千円）																									
	総便益（B）	水源かん養便益	1,782,364（千円）																								
		山地保全便益	545,920（千円）																								
		環境保全便益	69,528（千円）																								
		木材生産便益	1,349,266（千円）																								
		森林整備経費縮減等便益	116,809（千円）																								
		計	3,863,887（千円）																								
	分析結果（B / C）	4.97																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																										

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	三八上北森林計画区 (さんばちかみきた) (青森県)	事業実施主体	東北森林管理局 三八上北森林管理署																
事業の概要・目的	<p>三八上北森林計画区は、青森県東部に所在する79,155haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">主な事業内容</td> <td style="padding-right: 10px;">森林整備</td> <td style="padding-right: 10px;">更新面積</td> <td>508 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,713 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>14.8 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.0 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	508 (ha)			保育面積	2,713 (ha)		路網整備	開設延長	14.8 (km)			改良延長	1.0 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	508 (ha)																
		保育面積	2,713 (ha)																
	路網整備	開設延長	14.8 (km)																
		改良延長	1.0 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,499,980（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,332,038（千円）																
		山地保全便益	1,311,016（千円）																
		環境保全便益	180,985（千円）																
		木材生産便益	1,652,675（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	261,588（千円）																
		計	5,738,302（千円）																
	分析結果（B / C）	3.83																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	大槌・気仙川森林計画区 (おおづち・けせんがわ) (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 三陸中部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>大槌・気仙川森林計画区は、岩手県南東部に所在する29,062haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">203 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,781 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>5.9 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	203 (ha)			保育面積	1,781 (ha)		路網整備	開設延長	2.5 (km)			改良延長	5.9 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	203 (ha)																
		保育面積	1,781 (ha)																
	路網整備	開設延長	2.5 (km)																
		改良延長	5.9 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	689,848 (千円)																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	1,728,768 (千円)																
		山地保全便益	776,792 (千円)																
		環境保全便益	118,243 (千円)																
		木材生産便益	442,406 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	71,612 (千円)																
		計	3,137,821 (千円)																
	分析結果 (B / C)	4.55																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度									
事業実施地区名 （都道府県名）	雄物川森林計画区 （おものがわ） （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署									
事業の概要・目的	<p>雄物川森林計画区(秋田森林管理署)は、秋田県中央部に所在する111,055 h aの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>370 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,930 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.7 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	370 (ha)		保育面積	4,930 (ha)	路網整備	開設延長	2.7 (km)
森林整備	更新面積	370 (ha)										
	保育面積	4,930 (ha)										
路網整備	開設延長	2.7 (km)										
費用対効果分析	総費用（C）	1,266,879（千円）										
	総便益（B）	水源かん養便益	3,673,115（千円）									
		山地保全便益	1,348,018（千円）									
		環境保全便益	248,713（千円）									
		木材生産便益	689,162（千円）									
		森林整備経費縮減等便益	155,381（千円）									
		計	6,114,389（千円）									
	分析結果（B / C）	4.83										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	雄物川森林計画区 (おものがわ) (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署																
事業の概要・目的	<p>雄物川森林計画区(秋田森林管理署湯沢支署)は、秋田県南部に所在する43,770haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等(奥地林・里山林)は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">75 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,470 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.8 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.8 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	75 (ha)			保育面積	1,470 (ha)		路網整備	開設延長	3.8 (km)			改良延長	2.8 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	75 (ha)																
		保育面積	1,470 (ha)																
	路網整備	開設延長	3.8 (km)																
		改良延長	2.8 (km)																
費用対効果分析	総費用(C)	482,633 (千円)																	
	総便益(B)	水源かん養便益	984,840 (千円)																
		山地保全便益	492,698 (千円)																
		環境保全便益	65,471 (千円)																
		木材生産便益	431,180 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	104,214 (千円)																
		計	2,078,403 (千円)																
	分析結果(B/C)	4.31																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	最上村山森林計画区 (もがみむらやま) (山形県)	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署												
事業の概要・目的	<p>最上村山森林計画区(山形森林管理署)は、山形県中央部に所在する77,046haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等(奥地林・里山林)は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">55 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">1,083 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">4.9 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	55 (ha)			保育面積	1,083 (ha)		路網整備	開設延長	4.9 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	55 (ha)												
		保育面積	1,083 (ha)												
	路網整備	開設延長	4.9 (km)												
費用対効果分析	総費用(C)	438,449 (千円)													
	総便益(B)	水源かん養便益	566,685 (千円)												
		山地保全便益	253,484 (千円)												
		環境保全便益	74,676 (千円)												
		木材生産便益	543,639 (千円)												
		森林整備経費縮減等便益	148,729 (千円)												
		計	1,587,213 (千円)												
	分析結果(B/C)	3.62													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	最上村山森林計画区 （もがみむらやま） （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署最上支署																
事業の概要・目的	<p>最上村山森林計画区（山形森林管理署最上支署）は、山形県北部に所在する107,082haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>284 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,529 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.2 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.1 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	284 (ha)			保育面積	5,529 (ha)		路網整備	開設延長	5.2 (km)			改良延長	1.1 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	284 (ha)																
		保育面積	5,529 (ha)																
	路網整備	開設延長	5.2 (km)																
		改良延長	1.1 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,484,988（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,937,143（千円）																
		山地保全便益	1,379,329（千円）																
		環境保全便益	283,826（千円）																
		木材生産便益	958,674（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	326,748（千円）																
		計	6,885,720（千円）																
	分析結果（B / C）	4.64																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

# 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	阿武隈川森林計画区 (あぶくまがわ) (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署												
事業の概要・目的	<p>阿武隈川森林計画区は、福島県の中央部に位置し、92,031haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で70,740ha(77%)、森林と人との共生林で15,264ha(16%)、資源の循環利用林で6,027ha(7%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">517 (ha)</td> <td style="width: 10%;">保育面積</td> <td style="width: 10%;">3,157 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>38.6 (km)</td> <td>改良延長</td> <td>8.3 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	517 (ha)	保育面積	3,157 (ha)		路網整備	開設延長	38.6 (km)	改良延長	8.3 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	517 (ha)	保育面積	3,157 (ha)										
	路網整備	開設延長	38.6 (km)	改良延長	8.3 (km)										
費用対効果分析	総費用(C)	4,759,844 (千円)													
	総便益(B)	水源かん養便益	2,299,861 (千円)												
		山地保全便益	728,824 (千円)												
		環境保全便益	198,662 (千円)												
		木材生産便益	4,628,000 (千円)												
		森林整備経費縮減等便益	1,628,292 (千円)												
		計	9,483,639 (千円)												
	分析結果(B/C)	1.99													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																								
事業実施地区名 (都道府県名)	阿武隈川森林計画区 (あぶくまがわ) (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署白河支署																								
事業の概要・目的	<p>阿武隈川森林計画区は、福島県の中央部に位置し、92,031haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で70,740ha(77%)、森林と人との共生林で15,264ha(16%)、資源の循環利用林で6,027ha(7%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">279 (ha)</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,838 (ha)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>22.3 (km)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.0 (km)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	279 (ha)					保育面積	1,838 (ha)				路網整備	開設延長	22.3 (km)					改良延長	3.0 (km)		
主な事業内容	森林整備	更新面積	279 (ha)																								
		保育面積	1,838 (ha)																								
	路網整備	開設延長	22.3 (km)																								
		改良延長	3.0 (km)																								
費用対効果分析	総費用(C)	2,227,073 (千円)																									
	総便益(B)	水源かん養便益	1,405,773 (千円)																								
		山地保全便益	445,447 (千円)																								
		環境保全便益	116,754 (千円)																								
		木材生産便益	1,895,463 (千円)																								
		森林整備経費縮減等便益	833,604 (千円)																								
		計	4,697,041 (千円)																								
	分析結果(B/C)	2.11																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																										

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																								
事業実施地区名 （都道府県名）	西毛森林計画区 （せいもう） （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 群馬森林管理署																								
事業の概要・目的	<p>西毛森林計画区は、群馬県の南西部に位置し、29,077haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で24,602ha(85%)、森林と人との共生林で3,481ha(12%)、資源の循環利用林で994ha(3%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>233 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,441 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>15.1 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.2 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	233 (ha)		保育面積	2,441 (ha)	路網整備	開設延長	15.1 (km)		改良延長	1.2 (km)												
森林整備	更新面積	233 (ha)																									
	保育面積	2,441 (ha)																									
路網整備	開設延長	15.1 (km)																									
	改良延長	1.2 (km)																									
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総費用(C)</td> <td></td> <td>1,418,886 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>水源かん養便益</td> <td>2,182,131 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山地保全便益</td> <td>682,613 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全便益</td> <td>168,434 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木材生産便益</td> <td>1,201,391 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>604,483 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>4,839,052 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td></td> <td>3.41</td> </tr> </table>			総費用(C)		1,418,886 (千円)	総便益(B)	水源かん養便益	2,182,131 (千円)		山地保全便益	682,613 (千円)		環境保全便益	168,434 (千円)		木材生産便益	1,201,391 (千円)		森林整備経費縮減等便益	604,483 (千円)		計	4,839,052 (千円)	分析結果(B/C)		3.41
総費用(C)		1,418,886 (千円)																									
総便益(B)	水源かん養便益	2,182,131 (千円)																									
	山地保全便益	682,613 (千円)																									
	環境保全便益	168,434 (千円)																									
	木材生産便益	1,201,391 (千円)																									
	森林整備経費縮減等便益	604,483 (千円)																									
	計	4,839,052 (千円)																									
分析結果(B/C)		3.41																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																										

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	下越森林計画区 （かえつ） （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 下越森林管理署												
事業の概要・目的	<p>下越森林計画区は、新潟県の北東部に位置し、146,832haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で54,959ha(38%)、森林と人との共生林で90,003ha(61%)、資源の循環利用林で1,870ha(1%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>53 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>879 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.4 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.0 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	53 (ha)		保育面積	879 (ha)	路網整備	開設延長	5.4 (km)		改良延長	3.0 (km)
森林整備	更新面積	53 (ha)													
	保育面積	879 (ha)													
路網整備	開設延長	5.4 (km)													
	改良延長	3.0 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	1,198,674（千円）													
	総便益（B）	水源かん養便益	1,211,518（千円）												
		山地保全便益	333,016（千円）												
		環境保全便益	46,760（千円）												
		木材生産便益	1,323,700（千円）												
		森林整備経費縮減等便益	309,110（千円）												
		計	3,224,104（千円）												
	分析結果（B/C）	2.69													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	下越森林計画区 (かえつ) (新潟県)	事業実施主体	関東森林管理局 下越森林管理署村上支署																
事業の概要・目的	<p>下越森林計画区は、新潟県の北東部に位置し、146,832haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で54,959ha(38%)、森林と人との共生林で90,003ha(61%)、資源の循環利用林で1,870ha(1%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">45 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>535 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>10.6 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	45 (ha)			保育面積	535 (ha)		路網整備	開設延長	3.0 (km)			改良延長	10.6 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	45 (ha)																
		保育面積	535 (ha)																
	路網整備	開設延長	3.0 (km)																
		改良延長	10.6 (km)																
費用対効果分析	総費用(C)	3,155,406 (千円)																	
	総便益(B)	水源かん養便益	658,578 (千円)																
		山地保全便益	181,025 (千円)																
		環境保全便益	27,761 (千円)																
		木材生産便益	3,859,380 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	385,154 (千円)																
		計	5,111,898 (千円)																
	分析結果(B/C)	1.62																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度									
事業実施地区名 （都道府県名）	水戸那珂森林計画区 （みとなか） （茨城県）	事業実施主体	関東森林管理局 茨城森林管理署									
事業の概要・目的	<p>水戸那珂森林計画区は、茨城県の中央に位置し、5,562haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で3,836ha(69%)、森林と人との共生林で874ha(16%)、資源の循環利用林で852ha(15%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>51 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>573 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>改良延長</td> <td>1.5 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	51 (ha)		保育面積	573 (ha)	路網整備	改良延長	1.5 (km)
森林整備	更新面積	51 (ha)										
	保育面積	573 (ha)										
路網整備	改良延長	1.5 (km)										
費用対効果分析	総費用（C）	518,244（千円）										
	総便益（B）	水源かん養便益	628,211（千円）									
		山地保全便益	711,412（千円）									
		環境保全便益	24,666（千円）									
		木材生産便益	41,706（千円）									
		森林整備経費縮減等便益	34,500（千円）									
		計	1,440,495（千円）									
	分析結果（B/C）	2.78										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度									
事業実施地区名 (都道府県名)	千葉南部森林計画区 (ちばなんぶ) (千葉県)	事業実施主体	関東森林管理局 千葉森林管理事務所									
事業の概要・目的	<p>千葉南部森林計画区は、千葉県の南部に位置し、7,711haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で4,663ha(61%)、森林と人との共生林で2,240ha(29%)、資源の循環利用林で808ha(10%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>73 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>615 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>改良延長</td> <td>1.9 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	73 (ha)		保育面積	615 (ha)	路網整備	改良延長	1.9 (km)
森林整備	更新面積	73 (ha)										
	保育面積	615 (ha)										
路網整備	改良延長	1.9 (km)										
費用対効果分析	総費用(C)	649,118 (千円)										
	総便益(B)	水源かん養便益	659,613 (千円)									
		山地保全便益	849,797 (千円)									
		環境保全便益	36,044 (千円)									
		木材生産便益	60,636 (千円)									
		森林整備経費縮減等便益	43,700 (千円)									
		計	1,649,790 (千円)									
	分析結果(B/C)	2.54										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度									
事業実施地区名 （都道府県名）	富士川中流森林計画区 （ふじがわちゅうりゅう） （山梨県）	事業実施主体	関東森林管理局 山梨森林管理事務所									
事業の概要・目的	<p>富士川中流森林計画区は、山梨県の南西部に位置し、2,747haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で2,259ha(82%)、森林と人との共生林で20ha(1%)、資源の循環利用林で468ha(17%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>27 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>181 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>改良延長</td> <td>1.2 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	27 (ha)		保育面積	181 (ha)	路網整備	改良延長	1.2 (km)
森林整備	更新面積	27 (ha)										
	保育面積	181 (ha)										
路網整備	改良延長	1.2 (km)										
費用対効果分析	総費用（C）	376,768（千円）										
	総便益（B）	水源かん養便益	171,031（千円）									
		山地保全便益	471,758（千円）									
		環境保全便益	10,777（千円）									
		木材生産便益	17,692（千円）									
		森林整備経費縮減等便益	27,600（千円）									
		計	698,858（千円）									
	分析結果（B/C）	1.85										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	静岡森林計画区 (しずおか) (静岡県)	事業実施主体	関東森林管理局 静岡森林管理署																
事業の概要・目的	<p>静岡森林計画区は、静岡県の中央部に位置し、31,927haの国有林を対象としている。また、森林の重視すべき3機能区分で見れば、水土保持林で23,008ha(72%)、森林と人との共生林で8,050ha(25%)、資源の循環利用林で869ha(3%)の区分となっている。</p> <p>当計画区は、木材等の林産物の供給、水源かん養、山地災害の防止等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供や地球温暖化防止及び生物多様性の保全等への森林の持つ多面的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">7 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>237 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.9 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.5 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	7 (ha)			保育面積	237 (ha)		路網整備	開設延長	2.9 (km)			改良延長	2.5 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	7 (ha)																
		保育面積	237 (ha)																
	路網整備	開設延長	2.9 (km)																
		改良延長	2.5 (km)																
費用対効果分析	総費用(C)	851,820 (千円)																	
	総便益(B)	水源かん養便益	383,119 (千円)																
		山地保全便益	95,030 (千円)																
		環境保全便益	16,755 (千円)																
		木材生産便益	1,184,072 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	270,890 (千円)																
		計	1,949,866 (千円)																
	分析結果(B/C)	2.29																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	千曲川下流森林計画区 （ちくまがわりゅう） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 北信森林管理署																
事業の概要・目的	<p>長野県の北部、千曲川下流域に所在する本計画区は48,812haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区内の森林は、上信越高原国立公園、戸隠・大峰自然休養林等の優れた自然に恵まれており、レクリエーションの場として期待されている。また、森林の特徴は、北部では日本有数の豪雪地帯でブナ等の広葉樹を主体とした天然林が多く、南部はスギ、カラマツ等の人工林地帯となっている。一方、多種・多様な木材の安定的・持続的な供給、山菜などの資源を利用した産業への貢献等も求められている地域であり、公益的機能の発揮を旨としつつ、このような要請に応えていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えるため、適切な森林整備を行うものである。</p> <table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>125 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>757 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.6 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	125 (ha)			保育面積	757 (ha)		路網整備	開設延長	3.5 (km)			改良延長	1.6 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	125 (ha)																
		保育面積	757 (ha)																
	路網整備	開設延長	3.5 (km)																
		改良延長	1.6 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	566,696（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	573,025（千円）																
		山地保全便益	315,558（千円）																
		環境保全便益	69,343（千円）																
		木材生産便益	344,327（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	170,783（千円）																
		計	1,473,036（千円）																
	分析結果（B/C）	2.60																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 国土保全及び水源かん養、自然環境の維持等公益的機能の発揮を旨としつつ、林業・林産業等の地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業は、健全な森林の育成を推進するため、針広混交林化の推進、人工林保育及び間伐等を推進する路網の整備等であり、地域の森林の諸機能の向上に有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

# 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	宮・庄川森林計画区 (みや・しょうかわ) (岐阜県)	事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署																
事業の概要・目的	<p>岐阜県の庄川流域の白山山系及び宮川、高原川流域の飛騨山系に主として位置する本計画区は96,845haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区内の国有林は、庄川等の主要河川の源流部が中部山岳国立公園、白山国立公園等の自然公園に指定されているとともに、地形地質等の条件から国有林野面積の97%が水源かん養、土砂流出防備保安林に指定されており、広域にわたる水資源のかん養、山地災害の防止、レクリエーションの場としての公益的機能発揮への要請が高い地域である。また、木材加工業をはじめ林業・林産業が地域の重要な産業となっており、公益的機能の発揮を旨としつつ、木材の安定的・持続的な供給にも資することとする。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えるため、適切な森林整備を行うものである。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">414 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,722 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.1 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	414 (ha)			保育面積	4,722 (ha)		路網整備	開設延長	0.0 (km)			改良延長	1.1 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	414 (ha)																
		保育面積	4,722 (ha)																
	路網整備	開設延長	0.0 (km)																
		改良延長	1.1 (km)																
費用対効果分析	総費用(C)	670,406 (千円)																	
	総便益(B)	水源かん養便益	3,254,548 (千円)																
		山地保全便益	1,463,893 (千円)																
		環境保全便益	221,320 (千円)																
		木材生産便益	801,347 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	122,762 (千円)																
		計	5,863,870 (千円)																
	分析結果(B/C)	8.75																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 国土保全及び水源かん養、自然環境の維持等公益的機能の発揮を旨としつつ、林業・林産業等の地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業は、健全な森林の育成を推進するため、針広混交林化の推進、人工林保育及び間伐等を推進する路網の整備等であり、地域の森林の諸機能の向上に有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	湖北森林計画区 （こほく） （滋賀県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署												
事業の概要・目的	<p>湖北森林計画区は、10,240haの国有林野を対象として、福井、岐阜両県と県境の脊梁部を主体に比較的まとまりのある団地として分布しているほか、琵琶湖周辺に小面積の団地が点在している。国有林は森林面積の9%余りであるが、琵琶湖に注ぐ河川の源流部に位置する森林が大部分で国土保全、水源かん養等公益的機能の発揮において重要な役割を果たすことが望まれている。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>162(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	162(ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	0.1(km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	162(ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	0.1(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	45,673(千円)													
	総便益(B)	水源かん養便益	172,946(千円)												
		山地保全便益	73,151(千円)												
		環境保全便益	14,246(千円)												
		木材生産便益	132,662(千円)												
		森林整備経費縮減等便益	3,696(千円)												
		計	396,701(千円)												
	分析結果(B/C)	8.69													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大阪森林計画区 （おおさか） （大阪府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>大阪森林計画区は、1,039haの国有林野を対象としており、森林面積の割合は2%と低いものの、ほとんどが都市近郊に所在しており、都市住民の保健文化・教育的利用の場として重要な役割を果たすことが望まれている。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>53(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	53(ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	53(ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	11,423(千円)													
	総便益(B)	水源かん養便益	55,195(千円)												
		山地保全便益	22,984(千円)												
		環境保全便益	4,427(千円)												
		木材生産便益	16,824(千円)												
		森林整備経費縮減等便益	(千円)												
		計	99,430(千円)												
	分析結果(B/C)	8.70													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	円山川森林計画区 （まるやまがわ） （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署												
事業の概要・目的	<p>円山川森林計画区は、兵庫県北部に位置する鳥取県県境沿いの脊梁付近と城崎郡、出石郡に分布する4,293haの国有林野を対象としている。、全森林面積に対する国有林面積は2%と少ないが、水源かん養保安林の指定が93%を占め下流域の水源のかん養に重要な役割を担っている。</p> <p>また、氷ノ山後山那岐山国定公園に位置する国有林は登山などレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されているなど、公益的機能の発揮が望まれる森林の比率が高くなっている。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>118(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	118(ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	118(ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	34,117(千円)													
	総便益(B)	水源かん養便益	139,497(千円)												
		山地保全便益	52,821(千円)												
		環境保全便益	10,930(千円)												
		木材生産便益	19,979(千円)												
		森林整備経費縮減等便益	(千円)												
		計	223,227(千円)												
	分析結果(B/C)	6.54													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	日野川森林計画区 （ひのがわ） （鳥取県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署																
事業の概要・目的	<p>日野川森林計画区は、5,691haの国有林野を対象として、鳥取県西部の大山及び日野川上支流に分布している。全体森林面積に対する国有林面積は7%と低いものの、水源かん養保安林の指定が71%を占め下流域の水資源の確保に重要な役割を担っている。</p> <p>大山周辺の国有林野は、中国地方の主峰大山を中心に大山隠岐国立公園に含まれており観光、スキー、登山など森林を利用したレクリエーション、保健休養の場としても多くの人々に利用されている。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">6 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>400 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	6 (ha)			保育面積	400 (ha)		路網整備	開設延長	(km)			改良延長	(km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	6 (ha)																
		保育面積	400 (ha)																
	路網整備	開設延長	(km)																
		改良延長	(km)																
費用対効果分析	総費用（C）	106,961（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	433,837（千円）																
		山地保全便益	157,371（千円）																
		環境保全便益	31,716（千円）																
		木材生産便益	58,063（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	（千円）																
		計	680,987（千円）																
	分析結果（B/C）	6.37																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	江の川下流森林計画区 （ごうのかわかりゅう） （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署																
事業の概要・目的	<p>江の川下流森林計画区は、9,031haの国有林野を対象として、江の川流域に団地を形成し水源かん養機能の発揮に重要な役割を果たしている。また一部の国有林は西中国山地国定公園にも含まれ森林レクリエーションの場としても親しまれている。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>37 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>716 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.4 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.2 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	37 (ha)			保育面積	716 (ha)		路網整備	開設延長	6.4 (km)			改良延長	0.2 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	37 (ha)																
		保育面積	716 (ha)																
	路網整備	開設延長	6.4 (km)																
		改良延長	0.2 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	728,047（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	680,101（千円）																
		山地保全便益	231,871（千円）																
		環境保全便益	47,017（千円）																
		木材生産便益	1,209,588（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	202,190（千円）																
		計	2,370,767（千円）																
	分析結果（B / C）	3.26																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	江の川上流森林計画区 （ごうのかわじょうりゅう） （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>江の川上流森林計画区は、12,427haの国有林野を対象としており、全体森林面積に対する国有林面積は6%と低いが、水源かん養を目的とした保安林に96%が指定されており、下流域の水源として重要な役割を果たしている。</p> <p>また、保健文化機能を発揮すべき保護林、レクリエーションの森、国土保全機能、木材生産機能の発揮が期待される森林も所在している。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">14 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>795 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	14 (ha)			保育面積	795 (ha)		路網整備	開設延長	7.0 (km)			改良延長	0.1 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	14 (ha)																
		保育面積	795 (ha)																
	路網整備	開設延長	7.0 (km)																
		改良延長	0.1 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	651,420 (千円)																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	1,899,592 (千円)																
		山地保全便益	696,686 (千円)																
		環境保全便益	100,893 (千円)																
		木材生産便益	717,619 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	87,686 (千円)																
		計	3,502,476 (千円)																
	分析結果 (B / C)	5.38																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	山口森林計画区 (やまぐち) (山口県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所																
事業の概要・目的	<p>山口森林計画区は、2,900haの国有林野を対象としており、榎野川及び佐波川の源流部に位置し、ほぼ全面積が水源かん養保安林に指定されており水源のかん養機能の発揮が期待されている。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">主な事業内容</td> <td style="padding-right: 10px;">森林整備</td> <td style="padding-right: 10px;">更新面積</td> <td>12 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>704 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.1 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	12 (ha)			保育面積	704 (ha)		路網整備	開設延長	1.5 (km)			改良延長	1.1 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	12 (ha)																
		保育面積	704 (ha)																
	路網整備	開設延長	1.5 (km)																
		改良延長	1.1 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	330,824 (千円)																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	677,256 (千円)																
		山地保全便益	255,001 (千円)																
		環境保全便益	51,044 (千円)																
		木材生産便益	1,306,324 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	35,991 (千円)																
		計	2,325,616 (千円)																
	分析結果 (B / C)	7.03																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	東予森林計画区 （とうよ） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																
事業の概要・目的	<p>東予森林計画区は、愛媛県東部に所在する8,980haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">6 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>47 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>5.9 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	6 (ha)			保育面積	47 (ha)		路網整備	開設延長	3.5 (km)			改良延長	5.9 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	6 (ha)																
		保育面積	47 (ha)																
	路網整備	開設延長	3.5 (km)																
		改良延長	5.9 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	530,038（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	22,221（千円）																
		山地保全便益	10,677（千円）																
		環境保全便益	2,377（千円）																
		木材生産便益	1,187,868（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	244,029（千円）																
		計	1,467,172（千円）																
	分析結果（B / C）	2.77																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 森林整備に当たっては、現地に適した樹種方法による更新、保育が検討されており、林道開設時には、現地発生材料の利用などコスト縮減による検討がなされており、十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	嶺北仁淀森林計画区 （れいほくによど） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署																
事業の概要・目的	<p>嶺北仁淀森林計画区は、高知県北部に所在する3,710haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">3 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>91 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.1 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	3 (ha)			保育面積	91 (ha)		路網整備	開設延長	4.3 (km)			改良延長	1.1 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	3 (ha)																
		保育面積	91 (ha)																
	路網整備	開設延長	4.3 (km)																
		改良延長	1.1 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	432,559（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	99,901（千円）																
		山地保全便益	23,088（千円）																
		環境保全便益	6,659（千円）																
		木材生産便益	914,571（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	355,948（千円）																
		計	1,400,167（千円）																
	分析結果（B / C）	3.24																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 森林整備に当たっては、現地に適した樹種方法による更新、保育が検討されており、林道開設時には、現地発生材料の利用などコスト縮減による検討がなされており、十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	高知森林計画区 （こうち） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 高知中部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>高知森林計画区は、高知県中東央部に所在する14,068haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">81 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>324 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>5.0 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	81 (ha)			保育面積	324 (ha)		路網整備	開設延長	7.5 (km)			改良延長	5.0 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	81 (ha)																
		保育面積	324 (ha)																
	路網整備	開設延長	7.5 (km)																
		改良延長	5.0 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	991,056（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	270,727（千円）																
		山地保全便益	62,499（千円）																
		環境保全便益	19,558（千円）																
		木材生産便益	2,685,593（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	778,707（千円）																
		計	3,817,084（千円）																
	分析結果（B / C）	3.85																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 森林整備に当たっては、現地に適した樹種方法による更新、保育が検討されており、林道開設時には、現地発生材料の利用などコスト縮減による検討がなされており、十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																								
事業実施地区名 （都道府県名）	福岡森林計画区 （ふくおか） （福岡県）	事業実施主体	九州森林管理局 福岡森林管理署																								
事業の概要・目的	<p>福岡森林計画区は、福岡県北西部に所在する7,801haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、背振山地区、三郡山地区及び玄界灘沿いに点在する海岸林と多様であり、福岡市の水がめとして水源かん養機能が期待されているほか、玄海国立公園、県立自然公園に指定されており、自然環境の維持、保全及び保健休養機能の発揮等に関する期待も高い。</p> <p>本事業は、これらの期待に応える森林の重視すべき機能の区分に応じ、適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">86 (ha)</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,177 (ha)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.5 (km)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.1 (km)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	86 (ha)					保育面積	1,177 (ha)				路網整備	開設延長	3.5 (km)					改良延長	3.1 (km)		
主な事業内容	森林整備	更新面積	86 (ha)																								
		保育面積	1,177 (ha)																								
	路網整備	開設延長	3.5 (km)																								
		改良延長	3.1 (km)																								
費用対効果分析	総費用（C）	388,243（千円）																									
	総便益（B）	水源かん養便益	602,527（千円）																								
		山地保全便益	191,107（千円）																								
		環境保全便益	43,717（千円）																								
		木材生産便益	555,015（千円）																								
		森林整備経費縮減等便益	70,477（千円）																								
		計	1,462,843（千円）																								
	分析結果（B/C）	3.77																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 水源かん養及び自然環境の維持、保全等公益的機能の発揮等に関する地域の期待に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																										

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	対馬森林計画区 （つしま） （長崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署																
事業の概要・目的	<p>対馬森林計画区は、対馬上島及び下島に所在する4,219haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は優れた景観に恵まれており、絶滅の恐れがあるツシマヤマネコの種の保護を含めた自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の期待は高い。</p> <p>本事業は、これらの期待に応える森林の重視すべき機能の区分に応じ、適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">20 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>775 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.7 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	20 (ha)			保育面積	775 (ha)		路網整備	開設延長	1.0 (km)			改良延長	0.7 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	20 (ha)																
		保育面積	775 (ha)																
	路網整備	開設延長	1.0 (km)																
		改良延長	0.7 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	205,543（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,019,142（千円）																
		山地保全便益	266,398（千円）																
		環境保全便益	66,329（千円）																
		木材生産便益	353,800（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	25,859（千円）																
		計	1,731,528（千円）																
	分析結果（B/C）	8.42																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の期待に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	白川・菊池川森林計画区 （しらかわ・きくちがわ） （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本森林管理署																
事業の概要・目的	<p>白川・菊池川森林計画区は、白川、菊池川の源流部及び熊本市の西部に所在する10,420haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の多くは、熊本市等の水がめとして水源かん養保安林に指定されるとともに、阿蘇くじゅう国立公園、くまもと自然休養林に指定されており、水源かん養及び自然環境の維持、保全等公益的機能の発揮等に関する地域の期待は高い。</p> <p>本事業は、これらの期待に応える森林の重視すべき機能の区分に応じ、適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">68 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,775 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.2 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>11.6 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	68 (ha)			保育面積	1,775 (ha)		路網整備	開設延長	4.2 (km)			改良延長	11.6 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	68 (ha)																
		保育面積	1,775 (ha)																
	路網整備	開設延長	4.2 (km)																
		改良延長	11.6 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	713,537（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,353,489（千円）																
		山地保全便益	445,335（千円）																
		環境保全便益	122,320（千円）																
		木材生産便益	657,465（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	68,372（千円）																
		計	2,646,981（千円）																
	分析結果（B/C）	3.71																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 水源かん養及び自然環境の維持、保全等公益的機能の発揮等に関する地域の期待に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	大分南部森林計画区 （おおいたなんぶ） （大分県）	事業実施主体	九州森林管理局 大分森林管理署																
事業の概要・目的	<p>大分南部森林計画区は、大分県南部を中心に所在する13,827haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等は多様であるため、水源かん養、山地災害防止及び自然環境の維持、保全等公益的機能や木材生産基地としての役割の発揮等、地域の期待は多岐に及んでいる。</p> <p>本事業は、これらの期待に応える森林の重視すべき機能の区分に応じ、適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">189 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,286 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.1 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>13.4 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	189 (ha)			保育面積	2,286 (ha)		路網整備	開設延長	7.1 (km)			改良延長	13.4 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	189 (ha)																
		保育面積	2,286 (ha)																
	路網整備	開設延長	7.1 (km)																
		改良延長	13.4 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	953,707（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,290,762（千円）																
		山地保全便益	445,894（千円）																
		環境保全便益	104,894（千円）																
		木材生産便益	1,002,004（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	93,018（千円）																
		計	2,936,572（千円）																
	分析結果（B/C）	3.08																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 水源かん養、山地災害防止及び自然環境の維持、保全等公益的機能の発揮、木材生産に関する地域の期待に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	広渡川森林計画区 （ひろとがわ） （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎南部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>広渡川森林計画区は、宮崎県南東部を中心に所在する29,101haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、広範囲に亘り地域住民による分収造林地が造成されている。また、水源地としての役割や優れた森林景観による保健休養の場としての役割も果たしている。このため、水源かん養及び自然環境の維持、保全等公益的機能の発揮、林産物の生産機能に対する地域の期待は高い。</p> <p>本事業は、これらの期待に応える森林の重視すべき機能の区分に応じ、適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">442 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,424 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>9.6 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.1 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	442 (ha)			保育面積	5,424 (ha)		路網整備	開設延長	9.6 (km)			改良延長	4.1 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	442 (ha)																
		保育面積	5,424 (ha)																
	路網整備	開設延長	9.6 (km)																
		改良延長	4.1 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,483,008（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,561,190（千円）																
		山地保全便益	769,395（千円）																
		環境保全便益	174,917（千円）																
		木材生産便益	1,520,043（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	214,551（千円）																
		計	6,240,096（千円）																
	分析結果（B/C）	4.21																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 水源かん養及び自然環境の維持、保全等公益的機能の発揮、林産物の生産等に関する地域の期待に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	北薩森林計画区 （ほくさつ） （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署																
事業の概要・目的	<p>北薩森林計画区は、鹿児島県北西部を中心に所在する32,061haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等は多様であり、ダムの集水域にあっては、水源かん養機能の発揮が期待されるほか、山岳地帯では自然環境の維持、保全、保健休養機能等が期待されている。</p> <p>本事業は、これらの期待に応える森林の重視すべき機能の区分に応じ、適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">141 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,767 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.8 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>14.1 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	141 (ha)			保育面積	4,767 (ha)		路網整備	開設延長	7.8 (km)			改良延長	14.1 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	141 (ha)																
		保育面積	4,767 (ha)																
	路網整備	開設延長	7.8 (km)																
		改良延長	14.1 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,360,389（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,172,087（千円）																
		山地保全便益	1,095,905（千円）																
		環境保全便益	264,144（千円）																
		木材生産便益	1,035,727（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	136,279（千円）																
		計	6,704,142（千円）																
	分析結果（B / C）	4.93																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 水源かん養及び自然環境の維持、保全等公益的機能の発揮等に関する地域の期待に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		